

「第64回愛媛県中学校総合体育大会」の剣道競技(団体の部)は7月24日、県武道館で行われ、小田中学校剣道部女子が準優勝を果たしました。同部(女子5人制)としては初の快挙で、上位2校が出場することができた。四国総体に駒を進めました。

### 県中学校総体剣道(団体の部) 小田中学校女子が初の準優勝



顧問の嶋家教諭と小田中学校剣道部女子の皆さん

選手は、土居愛美さん(3年・キャプテン)、宮内梨世さん(同)、高橋愛生さん(2年)、岩中まりなさん(1年)、上野葉奈さん(同)、高橋夢生さん(同)、稲垣彩夏さん(同)の7人。初戦は硬さが出て苦戦しながらも接戦を制し、続く3、4回戦も突破。決勝戦では強豪の城辺中学校に対し「最後まであきらめない」との気持ちで挑み、惜しくも敗れましたが、準優勝の栄冠を勝ち取りました。



内子ファンの拡大を目指し、会場の豊島区西公園で内子をPR

### 「東京フラフェスタ」会場で 内子町の特産品をアピール

内子町は特産品の販路拡大や観光客の誘致を目指し22年度から、東京都豊島区と交流事業を行っています。この一環として、7月20～22日に同区で開かれた「東京フラフェスタ in 池袋」に初出店し、物産販売と観光宣伝を行いました。

同フェスタは日本最大級のフラダンスの祭典で、10周年を迎える今年には3日間約34万人が来場。さまざまな団体が出店する中、内子町はソーセイジ、チーズ、地酒など、自然を生かした手作りの産品を販売し、多くの来場者から好評を得ました。

### 災害時の支援物資提供に関し 町商工会商業部会と協定締結

地震や風水害などの災害が発生した場合に、必要な飲料や食料、日用品などを確保し、町民の皆さんに提供するため、内子町と内子町商工会商業部会は7月23日、「災害時における支援協力に関する協定」を結びました。調印式は同日、町長室

で行われ、稲本隆壽町長と山田榮同商業部会長が出席。山田部会長は「いざという時に、少しでも復旧活動の手助けができれば」と語り、両者で固い握手を交わしました。町は22年10月に同建設部会とも支援協定を締結しています。



協定書を手にする稲本隆壽町長(右)と山田榮商業部会長

### 愛媛県消防操法大会 最優秀選手賞を受賞

第27回愛媛県消防操法大会は7月29日、県消防学校(松山市)で開かれ、内子町消防団内子方面隊五城分団第1部の市兼正則さん(33)＝護国Ⅱが、小型ポンプ操法(2番員)の部最優秀選手賞を受賞しました。小型ポンプ操法は指揮



賞状を手にする市兼さん

者と隊員3人で、2番員は素速的確に吸管を投入し、とび口を火点に搬送する役割を担います。入団7年目という市兼さんは、「周りに迷惑をかけるないように、とにかくミ

スをしないことを心掛けた。ずっと練習を続けてきて、団員みんなで取った賞。仲間感謝している」と話していました。

### 観光農園部30周年記念 観光ぶどう園祭を開催



夕暮れのぶどう園で演奏する堀内佳さん。家族連れなど約60人が来演

内子町観光農園部は8月17日、同部の設立30周年を記念し、藤友ぶどう園で「観光ぶどう園祭」を開催しました。はじめに尾形秀明部長が、「30年前に4軒の農家で設立された観光農園部も今は22軒が参加するほど大きくなった。これ

も皆さんのおかげ。美味しい果物を食べながら、ひとときを楽しんで」とあいさつ。高知県在住のシンガーソングライター・堀内佳さんのライブなどが行われ、来園者は採れたてのぶどうや桃を味わいながら、心地良い歌声に耳を傾けていました。

### 新しくなった石鎚山SAで からりのジェラートを販売



1\_迷うのも楽しみ 2\_1番人気はもち麦アイス。「香ばしい」と好評



どでにぎわいました。同SAには、他にも地元産の果物や野菜を揃えた「果物マルシェ」などさまざまな店舗がオープンし、地域の特色を生かし、多彩な機能を備えた施設になってます。